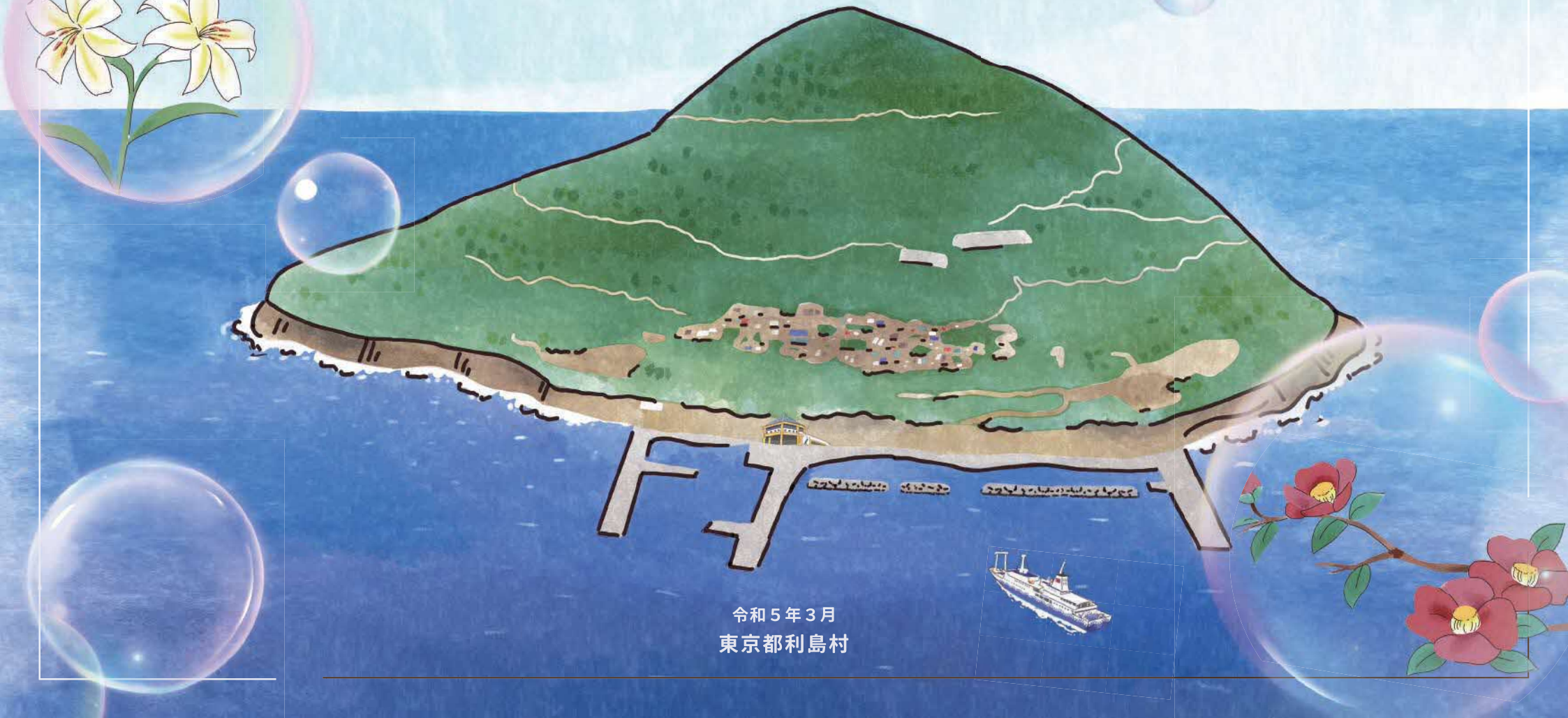
概要版

利島村第４次総合計画
後期基本計画

2022（令和４）年～2025（令和７）年



令和５年３月

東京都利島村

1 総合計画とは？

長期的かつ総合的視野をもって施策を進めることを目的とした、利島村行政全般に関する最上位の基本的かつ総合的な計画です。
近年、島づくりに必要な施策は一層分化し、複雑になっていることから、足並みを揃えて将来方向を目指すことの重要性が高まっています。

2 利島村が目指すものは？

総合計画では次の基本理念を掲げ、将来像の実現を目指します。

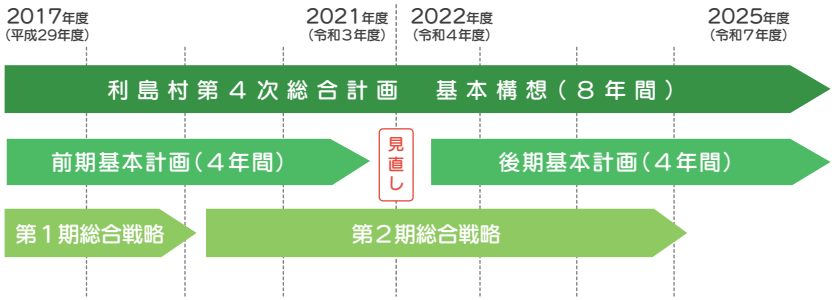
基本理念

生き生きとした活力のある島 自立する村 利島

「利島村民憲章」に掲げる将来像『生き生きとした活力のある島 自立する村 利島』を具現化するために、2025（令和７）年までの８年間、さらにその先の未来に向けて、全村民が一丸となって一歩ずつ着実に歩みを進める。

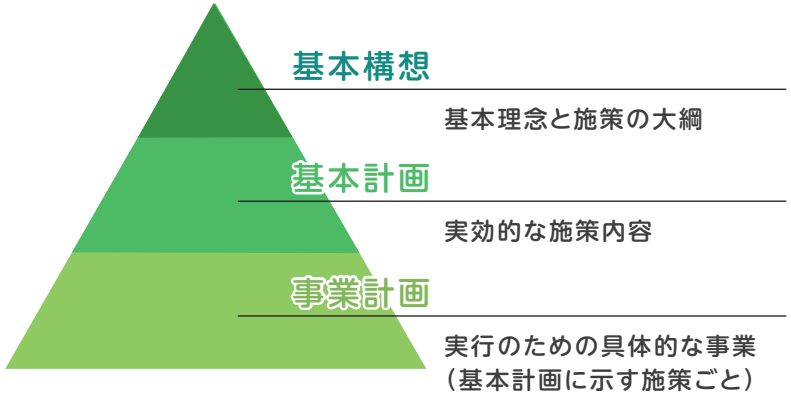
3 総合計画（後期構成基本計画）の期間は？

2022（令和４）年度から2025（令和７）年度までの４年間です。



4 総合計画（後期構成基本計画）の構成は？

本計画の構成は次のとおりです。



基本構想

「基本理念」と「３つの施策の大綱」で構成されています。

施策の大綱 Ⅰ	施策の大綱 Ⅱ	施策の大綱 Ⅲ
ひとの利を活かした島づくり	土地の利を活かした島づくり	自然の利を活かした島づくり

基本計画

「９の基本施策」と「31の個別施策」で構成されています。

計画体系図

利島村第４次総合計画後期基本計画

利島村総合開発審議会条例
利島村総合開発審議会

基本構想

施策の大綱 Ⅰ
ひとの利を活かした島づくり
～子育て・教育・文化・福祉～

施策の大綱 Ⅱ
土地の利を活かした島づくり
～産業・観光・交流～

施策の大綱 Ⅲ
自然の利を活かした島づくり
～生活基盤・環境・防災～

基本計画

Ⅰ-1
地域ぐるみの子育ての推進

Ⅰ-2
学校と地域の連携による生涯学び続ける人材の育成

Ⅰ-3
地域で支え合える福祉の島づくり

Ⅱ-1
椿産業の次世代への継承

Ⅱ-2
農漁業・商工業の活性化と新しい働き方の推進

Ⅱ-3
利島型の観光推進と交流促進

Ⅲ-1
島外ネットワークの充実

Ⅲ-2
環境と調和した生活基盤の整備

Ⅲ-3
安全な生活の確保

総合戦略

基本目標 1
安定した雇用を創出する

基本目標 2
新しい人の流れをつくる

基本目標 3
若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本目標 4
時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

施策推進の2つの視点
- デジタル
- ゼロカーボン

連動

SDGs17の目標

施策の大綱について

Ⅰ ひとの利を活かした島づくり
～子育て・教育・文化・福祉～

少子化・高齢化の進行による複雑化した課題や村民の多様なニーズを的確に把握し、島全体が一体となって対応していく必要があります。将来像の実現に向けて、島に根付く支え合いの文化や村民一人ひとりの顔が見える利点を活かしつつ、島外とも連携した施策を推進します。

施策の大綱１では、右の体系に基づき、「ひとの利を活かした島づくり」を目指します。

#出産 #子育て #文化 #教育 #学校 #福祉 #保健 #医療

基本施策		個別施策	
Ⅰ－1	地域ぐるみの子育ての推進	Ⅰ－1-(1)	出産・子育て支援
		Ⅰ－1-(2)	保育園等の運営
		Ⅰ－1-(3)	放課後の居場所づくり
Ⅰ－2	学校と地域の連携による生涯学び続ける人材の育成	Ⅰ－2-(1)	「利島ならでは」の学校教育
		Ⅰ－2-(2)	手厚い就学支援
		Ⅰ－2-(3)	地域が一体となった社会教育・生涯学習の推進
		Ⅰ－2-(4)	スポーツ振興・レクリエーション施設等の運営
		Ⅰ－2-(5)	文化・交流施設等の運営・地域文化の継承と想像
Ⅰ－3	地域で支え合える福祉の島づくり	Ⅰ－3-(1)	介護サービスの提供
		Ⅰ－3-(2)	高齢者・障害者福祉の充実
		Ⅰ－3-(3)	保健・医療の充実

Ⅱ 土地の利を活かした島づくり
～産業・観光・交流～

全国屈指の生産量を誇る椿産業を始め、島の産業を取り巻く環境は、生産者の高齢化や後継者不足など様々な課題に直面しています。また、観光についても情報発信や観光機会の創出等の課題がありますが、利島の地ならではの価値を活かして、交流・関係人口を増やす施策は、持続可能な島づくりに不可欠です。

施策の大綱２では、右の体系に基づき、「土地の利を活かした島づくり」を目指します。

#椿産業 #継承 #産業 #働き方 #観光 #関係人口

基本施策		個別施策	
Ⅱ－1	椿産業の次世代への継承	Ⅱ－1-(1)	椿林の継承と発展
		Ⅱ－1-(2)	椿の総合活用
Ⅱ－2	農漁業・商工業の活性化と新しい働き方の推進	Ⅱ－2-(1)	農業の振興
		Ⅱ－2-(2)	漁業の振興
		Ⅱ－2-(3)	商工業の振興
		Ⅱ－2-(4)	新しい働き方の推進
Ⅱ－3	利島型の観光推進と交流促進	Ⅱ－3-(1)	移住者・後継者の確保
		Ⅱ－3-(2)	広報戦略の強化
		Ⅱ－3-(3)	観光・交流拠点づくり

Ⅲ 自然の利を活かした島づくり
～生活基盤・環境・防災～

島が持つ環海性や隔絶性によって、災害時の復旧に多くの時間を要するため、常に自立的で安全な生活基盤の確保が重要です。同時に、自然の脅威に対抗するだけでなく、生活に恩恵をもたらす自然に貢献（自然の再生を手助け）するという考え方が重要です。

施策の大綱３では、右の体系に基づき、「自然の利を活かした島づくり」を目指します。

#ネットワーク #環境 #生活基盤 #安全 #防災

基本施策		個別施策	
Ⅲ－1	島外ネットワークの充実	Ⅲ－1-(1)	島外との交通の確保
		Ⅲ－1-(2)	情報通信基盤の整備
Ⅲ－2	環境と調和した生活基盤の整備	Ⅲ－2-(1)	住宅の維持・管理
		Ⅲ－2-(2)	簡易水道の維持・管理
		Ⅲ－2-(3)	ごみの減量化・資源化の推進
		Ⅲ－2-(4)	廃棄物処理
		Ⅲ－2-(5)	道路環境の保全
		Ⅲ－2-(6)	美しい景観づくり
		Ⅲ－2-(7)	新エネルギーへの対応
Ⅲ－3	安全な生活の確保	Ⅲ－3-(1)	防災・減災のしくみづくり
		Ⅲ－3-(2)	防災意識の醸成と島内連携

基本施策の内容

ひとの利を活かした島づくり ～子育て・教育・文化・福祉～

Ⅰ-1 地域ぐるみの子育ての推進

目指す姿

島内に住む大人たちが
子どもの顔と名前を知っている

施策推進の2つの視点

ゼロカーボン

- 豊かな自然を活用した体験学習の実施
- 子育て世代への周知、啓発活動
- 関連施設における再生可能エネルギーの導入、省エネルギー化

デジタル

- 出産・子育てに関する手続きのオンライン化
- オンラインによる相談支援体制の構築（都・他自治体との連携含む）
- 利島出身者・卒業生との交流機会の創出（利島への想いを繋ぐ仕組みづくり）

関連するSDGs

Ⅰ-2 学校と地域の連携による生涯学び続ける人材の育成

目指す姿

子ども・保護者・教職員を含め、利島に住む全員が学ぶ機会を多く持ち、利島をより良くするために行動できる

施策推進の2つの視点

ゼロカーボン

- 豊かな自然・伝統文化を活用した体験学習・ふるさと学習の実施

デジタル

- デジタル技術を活用した学校を核とする地域コミュニティの創出と多世代支援

関連するSDGs

Ⅰ-3 地域で支え合える福祉の島づくり

目指す姿

島内・島外問わず福祉・保健医療に携わる専門家のネットワ ークが個々のニーズに応じて機能している

施策推進の2つの視点

ゼロカーボン

- 徒歩や電動自転車（超小型モビリティなど）の利用促進

デジタル

- 超高速ブローバンドを活用した遠隔医療
- 健診データ等ヘルスデータを活用した健康づくり支援
- ＩＰ告知端末の活用による高齢者と専門家の相互通信

関連するSDGs

基本施策の内容

土地の利を活かした島づくり ～産業・観光・交流～

Ⅱ-1 椿産業の次世代への継承

目指す姿

100 年後を見据えた椿産業ビジョンを利島村椿産業振興行動計画をベースに議論し、明確にできている

施策推進の2つの視点

ゼロカーボン

- 椿油の搾り粕などの第二世代バイオ燃料（非食用のバイオマス（木質燃料や廃棄物）を用いて製造するもの）をバイオ燃料などとして有効活用
- 椿産業のゼロカーボン化
- 耕作放棄地（山）の流動化（椿山の中間管理等）による有効活用

デジタル

- 利島椿の情報を全国の潜在顧客へ発信
- 椿産業における新技術の導入
- 島外機関と連携した種以外の部分の活用方法の検討

関連するSDGs

Ⅱ-2 農漁業・商工業の活性化と新しい働き方の推進

目指す姿

産業に関係する人口が増えてつながりが強まっている

施策推進の2つの視点

ゼロカーボン

- 島内企業の脱炭素経営の支援
  普及啓発活動の推進
  環境保全型農業の推進

デジタル

- ＩＣＴ人材の育成
- オンライン相談の充実
- スマート農業の推進
- テレワーク・ワーケーションの推進

関連するSDGs

Ⅱ-3 利島型の観光推進と交流促進

目指す姿

椿産業を中心とした関係人口が増えている

施策推進の2つの視点

ゼロカーボン

- 完全自動運転ＥＶによる公共交通網の整備・活用
- グリーンツーリズムやエコツーリズムの推進

デジタル

- 最先端技術を通じた関係人口の増加
- デジタルプロモーションの強化

関連するSDGs

基本施策の内容

自然の利を活かした島づくり ～生活基盤・環境・防災～

Ⅰ-1 島外ネットワークの充実

目指す姿

島外へのデジタル・リアル双方の繋がりが強化されている

施策推進の2つの視点

ゼロカーボン

- ＥＶ・蓄電池の導入とエネマネの活用
- シェアリングエコノミーの導入

デジタル

- 新技術の活用等により点検の高度化・効率化を推進
- デジタル社会を前提とした公共インフラの整備・更新

関連するSDGs

Ⅰ-2 環境と調和した生活基盤の整備

目指す姿

循環する島づくりに村民・事業者・行政が一体となって貢献している

施策推進の2つの視点

ゼロカーボン

- 公共施設への再生可能エネルギーの導入
- 住宅・商業施設・宿泊施設への太陽光発電導入
- 工場・ヘリポートへの太陽光発電導入

デジタル

- ごみ分別のルールなど情報発信強化、充実
- 先端技術を現場レベルで活用する実践的取組

関連するSDGs

Ⅰ-3 安全な生活の確保

目指す姿

地域住民と消防団が協力し、災害時の応急体制が充実・強化されている

施策推進の2つの視点

ゼロカーボン

- 消火活動におけるカメやタメ（雨水）の活用
- 気候変動への適応に対する教育・啓発活動

デジタル

- ＩＰ端末を用いた双方向通信
- 災害時に即応できる各種支援システム等の整備

関連するSDGs

発行年月日 / 令和5年３月
発行者 / 利島村役場 総務課
〒100-0301　東京都利島村248番地
TEL：04992-9-0012